

1	審議会名	安曇野市食育推進会議（第1回）
2	日 時	平成29年7月31日 午後1時30分から午後3時00分まで
3	会 場	本庁舎 会議室401
4	出席者	本郷会長、堀内副会長、中田委員、曾山委員、豊田委員、上條委員、平林委員、堀内委員、丸山委員、阿部委員、松尾委員、辻野委員、後藤委員、渡辺委員
5	市側出席者	堀内保健医療部長、高橋健康推進課長、中澤センター長、久保田課長補佐、竹澤管理栄養士、小松管理栄養士、斉藤管理栄養士、芝原歯科衛生士、長田管理栄養士
6	公開・非公開の別	公開
7	傍聴人	0人 記者 0人
8	会議概要作成年月日	平成28年8月1日

協 議 事 項 等

1 会議の概要

- (1) 開 会
- (2) 委員の委嘱
- (3) 会長あいさつ
- (4) 保健医療部長あいさつ
- (5) 自己紹介
- (6) 協議事項
 - ① 平成28年度食育推進事業実績・平成29年度食育推進事業計画について
 - ② 安曇野市食育推進計画（第3次）の策定に向けて
- (7) 信州大学・松川村の地域連携事業について
- (8) 閉会

2 審議概要

①□平成28年度食育推進事業実績・平成29年度食育推進事業計画について

(会 長) 平成28年度食育推進事業実績・平成29年度食育推進事業計画について事務局より説明をお願いします。

(事務局) 平成28年度食育推進事業実績・平成29年度食育推進事業計画についての説明

(会 長) 平成28年度食育推進事業実績・平成29年度食育推進事業計画について、ご質問ご意見等ありましたら、お願いします。

(委 員) 学校給食の資料について教えていただきたい。P3の理念、目標に地産地消の推進と書いてあるが、どの位達成しているかデータはとっていますか。去年より今年の方が増えているとか分かりますか。

(事務局) データはとっています。県の報告で地産地消があると思います。

(委 員) 学校の栄養士さんたちが調べていて、今日は数字を用意していないのでお出しできませんが、農協さんとかに協力していただいて増えているところです。長野県の食育計画の目標の方でも随分達成率が高くなっていて皆さん頑張っています。安曇野市はどうかという分かりませんが、長野県全体では増えているところもあります。

(会 長) ありがとうございます。他にありますか。

(委 員) 資料1のP14ですが、食生活改善推進協議会の平成28年度実績のところ、ロコモ（運動器症候群）とありますが、これは逆にロコモがカッコの方が正しいのではないのでしょうか。運動器症候群が正式な名前だと思いますがいかがでしょうか。

(委 員) これは略しすぎていますが、生涯骨太クッキングが正しい名称です。ロコモはカッコです。ロコモ予防というタイトルが付いているので、ロコモと言っていますが、正しくは生涯骨太クッキングという教室です。

(委 員) 正式に表現した方がよろしいかと思います。P9の成人歯科健診のところですが、実施方法が9日間となっているが、これで理解できるのでしょうか。

(事務局) 9日間というのは、骨・歯科健診が6日間あるのと、歯科単独健診が3日間あるということです。

(委 員) そのところは表記しなくても通じるのでしょうか。

(事務局) 分かりにくいと思いますので、訂正します。

(委 員) P10の健康推進課の保健指導で、平成28年度で64.7%指導実施されていますが、平成29年度の計画では60%となっているのは上向かないのですか。

(事務局) 平成28年度の実績のところは初回のみが書かれています。特定保健指導はルールがありまして、初回を行ってもその後の評価まで続かないと実施したということにはなりません。最終評価までいかない方もいらっしゃるのでは64.7%よりは下がってくると思います。

(事務局) 平成29年度の60%というのは、国が定めた目標でもあるのですが、安曇野市の特定健診・特定保健指導実施計画でも定められた目標です。保健指導は6か月間実施します。その6か月後まで終了される方が、だいたい今41%位なので、60%を目標にしています。

(委員) 高い方ですか。

(事務局) 長野県全体が国平均より高く、県の中では安曇野市の実施率は県平均より少し低い状況です。

(委員) 歯科の予防でフッ化物洗口をされていると思います。葉害もあるけど、有用性が高いから使用しているのだと思いますが、国の方針とかで安曇野市でも取り入れているのか、安曇野市独自で取り入れているのかをお聞きしたい。

(事務局) 安曇野市で歯科口腔保健部会という機関があります。また歯科の行動指針というのがありまして、フッ化物洗口をむし歯予防のために実施しましょうと記載してあります。

(委員) 歯磨きとか甘い物を控えるだけでは足りないから、こういうものをやろうという事ですか。

(事務局) 幼弱永久歯という言葉があり、生えたての永久歯は歯の質が弱くて、むし歯になりやすいというものもあります。その時期にフッ化物を歯に吸収してもらうことによって、歯の質が強くなるので、むし歯予防に効果があると言われていています。

(委員) その効果がリスク、デメリットよりも大きいからやりましょうということですね。分かりました。ありがとうございます。

(会長) 私の方から歯科の先生にお伺いしたいと思います。歯科疾患と全身の健康状態、生活習慣病はよく言われるところですけども、歯科の病気は歯科の先生が調べますが、全身疾患はどうやって調べるのですか。

(委員) 1つはレセプトの方で調べています。

(会長) 病院で分かったのですが、検査すると全部レセプトに病名を付けるのです。例えば頭のCTをとると、今の保険診療は脳梗塞って書かないといけません。そうすると病気でもないのに病名を書いてくる。そのようにしないと点数がとれない。そういうシステムになっているので、それをそのまま鵜呑みにしてやっていると、本当はその人が病気でないことまで、データとして入ってくる。今の保険診療のシステムっていうのは、検査をして病名を付けて、初めて保健診療が入ってきます。だからそこら辺がどうかと思っています。

(委員) 実際の病気でない、検査は1回だけで終わりますね。

(会長) 2か月に1回とかですね。

(委員) 何か月かやっつてのデータで出しているんで、1回の検査だけでは判断していないと思います。

(会長) そこら辺、私の周りの者に聞いてみようかと思っています。

(事務局) レセプトのデータと特定健診の血液データと歯科のデータと唾液検査もやりたいということで実施しています。唾液検査は1回800円位かかる細かい検査ですけども、それも合わせて集計します。

②□安曇野市食育推進計画（第3次）の策定に向けて

(会長) 安曇野市食育推進計画（第3次）の策定に向けて事務局より説明をお願いします。

(事務局) 安曇野市食育推進計画（第3次）の策定に向けての説明

(会長) 安曇野市食育推進計画（第3次）の策定に向けて、ご質問ご意見等ありましたら、お願いします。

(委員) 資料2のP5の目標達成に向けた施策の中の2番目にある「ゆう活」を教えてください。

(事務局) こちらは私も分からなかったんで、調べてみたところ「朝早くから働き始め、明るい夕方のうちに仕事を終わらせ、夕方からは家族や友人との時間を楽しむこと」を言うそうです。

(会長) どこに書いてありましたか。

(事務局) ネットで調べました。

(会長) 出所を明らかにしてください。

(事務局) 調べて、正確にお答えします。

(会長) この計画はよくできている。私の意見を言わせていただくと、子どもから大人までやっつていて、子どものことは5～10年ずっとやってきました。しかし、病院にいて、栄養が足りなくてフラフラになった高齢者が入院しています。80～100歳。低栄養の取り組みを今の内からやっつていかないといけない。自分も10年後どうなるのだろうと心配です。これから10年後の日本を見たら、どうなるのかなと思います。

(委員) その低栄養の理由は何ですか。

(会長) それを調べていくと、食欲がないとか、運動をしないから腹も減らないとか。吸収もあります。自分の子どもも大きくなって手が離れましたが、自分のことばかり考えて、親のことを考えない。それを考えると、高齢者だとか10～20年後のことを考えた内容をもっと入れるべきではないかと思う。人の言っていることをやるのではなくて、この先、特に長野県なんかは高齢化が進むので、それを見ていかないといけない。自分もだんだんそうなります。何をどういう風にしていかなくやいけないかってことを、いつまでも子どもにお世話になっているのではなくて、もっと新しい将来のことに目を向けていく必要がある。その頃自分がフラフラになっていたらどうしようもないので、少しでもピンピンコロリといった健康長寿にする。寝たきり、点滴一本なんて人は、山ほどいます。病院行って見てください。中高年の早期の頃に何をしているかということで、この先が決まってくるのではないかという思いを抱いています。

※会議概要は、原則として公開します。